

## 第7回目のGIS News! です

新年度がスタートしました！ほとんど雪も解け、春らしい暖かな日が続いていますが、眠気覚ましにGISNews! いかがですか！  
心機一転、私たちが皆様への情報提供を充実していきたいと思っております。今年度もよろしくお付き合いください。

さて、7回目となりました今回は『数値地図』について説明していきたいと思っております。

## 『数値地図』とは？

デジタル化の流れから、これまでの紙地図に加えて数値地図が利用される機会が多くなってきました。数値地図とは地図情報を数字（デジタル）で表現した地図のことを指しますが、言葉だけでは分かりにくいかもしれません。

身近なところの例を上げれば・・・、そうですね「カーナビ用の地図」これなんかも数値地図です。イメージいただけただけでしょうか？

## 数値地図の種類

現在、様々な用途で数値地図が利用されていますが、その種類には一体どんなものがあるのか、一部ご紹介してみましょう。

- ・2次元ベクトルデータ      GISの空間データ基盤などに利用
- ・3次元標高データ      3Dでの地形表現、鳥瞰図などに利用
- ・地図画像データ      GISの背景データなどに利用

このような数値地図は一般に市販されており、誰でも簡単に入手することができます。基本的に縮尺が大きくなれば値段も高くなるようですが、同じ縮尺でも販売元によっては大きな差があるようです。

## 数値地図を利用するには

数値地図を利用するためにはシステムやソフトを準備する必要があります。単に情報を表示するだけのシステムから複雑な解析を行うシステムまで多種多様です。

中には数値地図に閲覧ソフトが付属されている場合もあり、距離・面積なども簡易測定できるものまであります。

多種多様な用途に利用できる数値地図です。せっかくの数値化された地図ですから、様々な情報を上乗せできるGISに一番利用価値がありそうです。

## 次回のGIS News!

新年度になり、GISNewsも月2回と発行回数を倍にすることとなりました。より多くの情報を皆様へお届けできるよう、鋭意努力してまいります。次回は4月23日発行予定です。よろしくおつき合い下さい！

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 鈴木 発行日：2001年4月10日

